

所要時間情報の提供で朝の通勤に変化

～松阪市内TDM社会実験の効果検証結果～

1. 概要：

三重県道路交通渋滞対策推進協議会 松阪エリア交通円滑化ワーキンググループでは、松阪市街地周辺の渋滞緩和を目的としたバイパス建設などのハード整備だけでなく、TDM施策（交通需要マネジメント）^{※1}などのソフト施策も推進し、地域の交通課題の解消を目指しています。

令和4年9月1日（木）から30日（金）の1ヶ月間、県道37号鳥羽松阪線を伊勢方面から津方面に走行する車両に対し、仮設情報板を用いてリアルタイムに朝田町南交差点から小津町交差点間の所要時間を提供する「社会実験」を実施し、今回、効果検証結果をとりまとめましたので、お知らせします。

今後も、今回の調査結果を参考にしながら更なる快適な道路交通環境を目指します。

- 朝ピーク時の市街地ルートの利用割合が3%減少するとともに、県道鳥羽松阪線（朝田町南から宮町交差点間）の平均旅行速度が約2km/h向上。
- バイパスルートの利用促進により、朝ピーク時における市街地ルートの所要時間が改善。
- 道路利用者へのアンケート調査では、約7割のドライバーが情報板を参考にしており、そのうち約4割が市街地ルートからバイパスルートに変更したと回答。
- 約6割のドライバーが、渋滞緩和の取り組みを今後も継続・拡大するべきと回答。

※1：TDM（交通需要マネジメント）

車の利用者の交通行動の変更を促すことにより、道路交通混雑を緩和する手法。
円滑な交通流の実現により、環境の改善、地域の活性化を図る。

2. 配布先：

三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ、松阪記者クラブ、伊勢記者会

3. 問合せ先：国土交通省 中部地方整備局 紀勢国道事務所

副所長 こんどう ひろし
近藤 弘司
計画課長 おおわし ひろき
大鷲 浩己

TEL 0598-52-5365

松阪市内TDM社会実験について【実験概要】

- 松阪市中心市街地では、幹線道路の交差点を中心に主要渋滞箇所が多数存在しており、**平日の通勤時間帯を中心に旅行速度が著しく低下**。
- 中心市街地を発着する交通が多い上に、**通過交通の約3割が中心市街地内の道路を利用していることが要因**。
- そこで、令和4年9月1日～30日までの1ヶ月間、伊勢方面から津方面（県道鳥羽松阪線利用）の通過交通を対象に、**仮設情報板によるバイパスルートと市街地ルートの所要時間情報を提供**するとともに、**バイパスを案内する補助看板を設置**し、中心市街地への流入を抑制する社会実験を実施。

(1) 松阪市街地の渋滞状況

▼主要渋滞箇所と平日朝ピーク時における旅行速度低下区間



- 凡例
- 20km/h未満
 - 主要渋滞箇所
 - 朝夕渋滞が発生している箇所
 - 朝ピーク時に見られる特徴的な渋滞
- ※) ETC2.0プローブデータ (令和3年9～11月平日7～9時の平均値)



【写真①】県道鳥羽松阪線 宮町交差点付近の渋滞状況 (令和4年6月21日(火) 8時頃の状況)

(2) 松阪市内TDM社会実験の内容

▼対象ルート



▼チラシ・ホームページによる周知

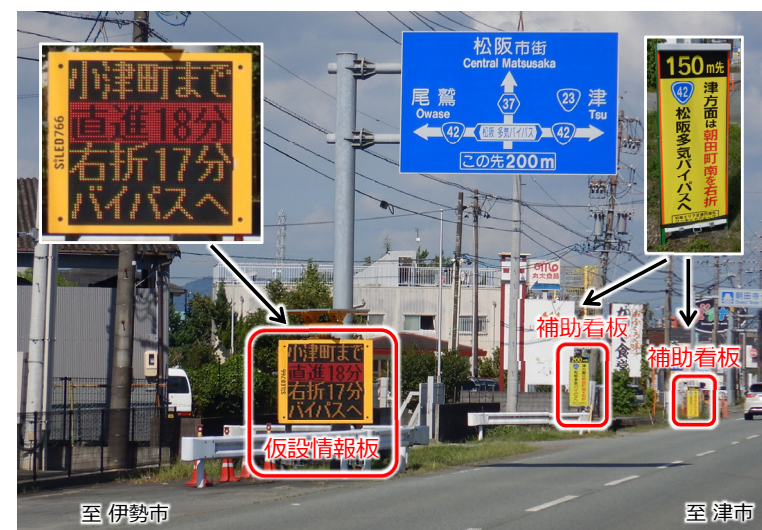


TDM社会実験チラシ



紀勢国道事務所ホームページ TDM特設サイト

▼仮設情報板・補助看板の設置位置



【写真②】仮設情報板による所要時間情報の提供 / 補助看板によるバイパス利用の案内

松阪市内TDM社会実験について【効果検証】

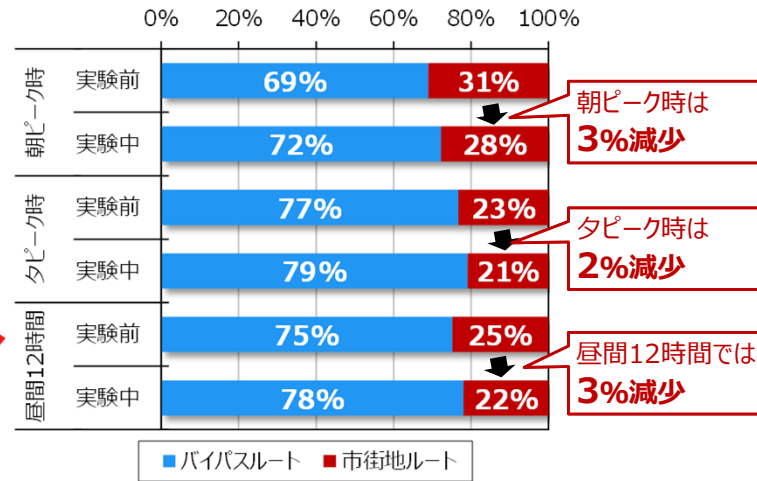
- 実験期間中は、市街地ルートの利用割合が2~3%減少。
- 朝の通勤時間帯に著しい渋滞が発生している県道鳥羽松阪線（朝田町南から宮町交差点間）では、朝ピーク時の平均旅行速度が約2km/h向上。
- バイパスルートの利用促進により、朝ピーク時における市街地ルートの所要時間が改善。

(3)実験期間中の交通状況の変化

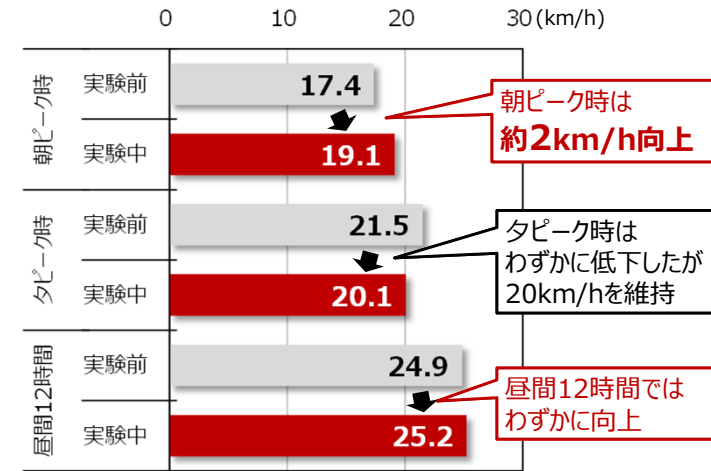
▼対象ルート



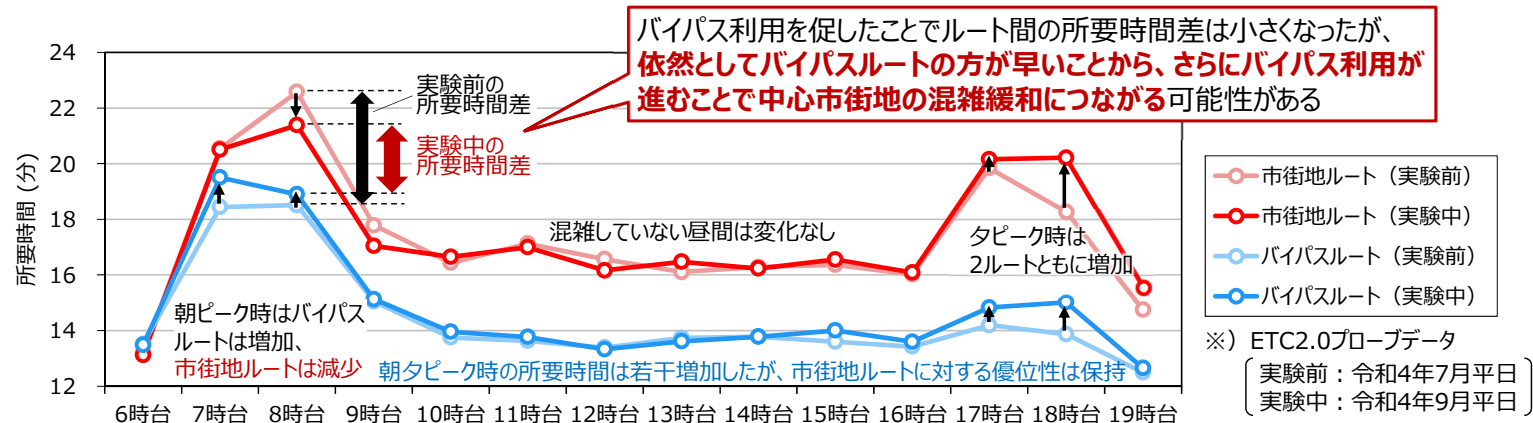
▼県道鳥羽松阪線を利用して伊勢方面から津方面に通過する車両の利用ルート割合の変化



▼市街地ルートの平均旅行速度の変化（朝田町南から宮町交差点間）



▼各ルートの平均所要時間の変化（朝田町南から小津町交差点間）

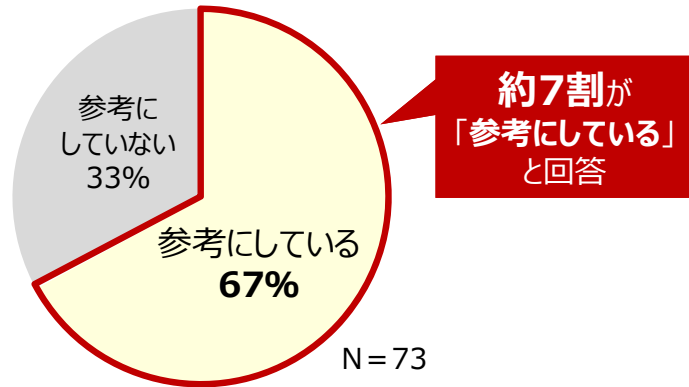


松阪市内TDM社会実験について【道路利用者の声】

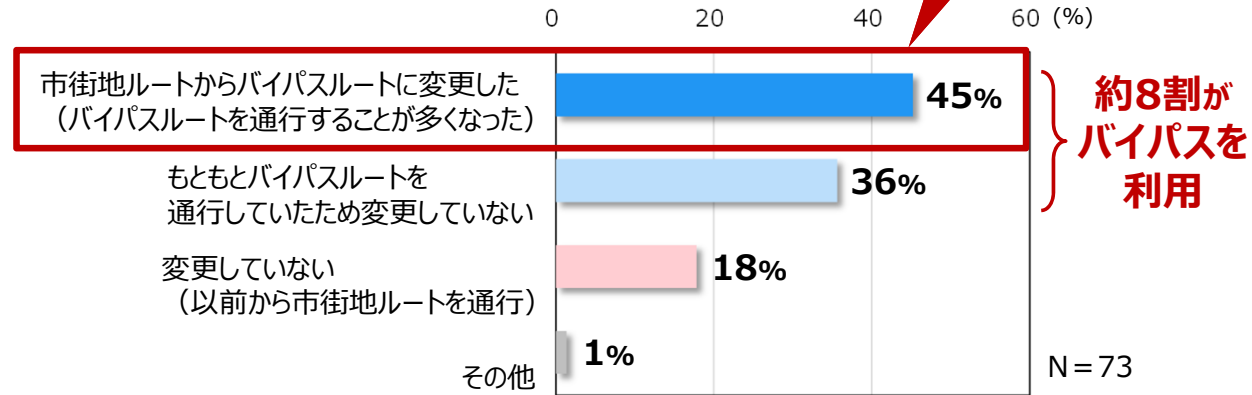
- 道路利用者へのアンケート調査では、県道鳥羽松阪線を利用して伊勢方面から津方面に移動する**約7割のドライバーが情報板を参考**にしており、そのうち**約4割が市街地ルートからバイパスルートに変更**したと回答。
- 約6割のドライバーが**、今回の社会実験のような**渋滞緩和の取り組みを今後も継続・拡大するべき**と回答。
- 一方で、**実験を行っていることを知らなかったという意見もあり、更なる広報、周知方法の改善が必要**。

(4)道路利用者の声（アンケート調査結果）

Q. 県道鳥羽松阪線を利用して伊勢方面から津方面に移動する際に、今回設置した情報板の表示内容を参考にしていますか？

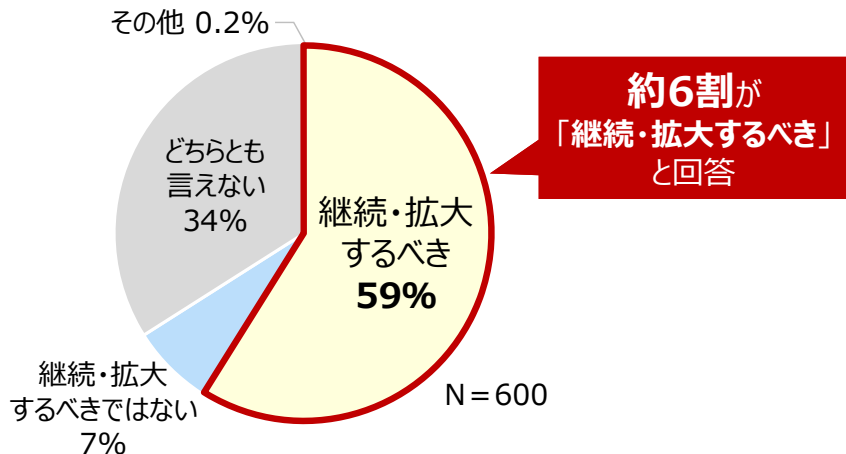


Q. 情報板や看板を見て、通行するルートを変更しましたか？



※) 上記の2つの問は、日常の運転において、県道鳥羽松阪線を利用して松阪市街地を伊勢方面から津方面に通過する方、かつ、情報板が設置されていることを知っていた方を対象に調査を実施

Q. 今回の社会実験のような渋滞緩和の取り組みを今後も継続・拡大するべきだと思いますか？



【参考】松阪市内TDM社会実験についての意見・感想（一部抜粋）

- 松阪市はいつも渋滞しているイメージがあるので、このような取り組みをされているのはポジティブでいいと思います。
- 良いと思われる対策をいろいろと試して効果を探る取り組みは今後も継続してやってもらいたい。
- ほかの地区でも実施してほしいです。
- 見やすくよかった。
- 今回の取組みについては、知らなかったが、良い試みだと思います。
- そんな実験をしている事は知らなかった。もう少し周知した方がいいのではないかな？
- あまり変化は感じられなかった。もう少しわかりやすく周知されていれば効果はあるかも知れない。

【アンケート調査の概要】 調査対象：松阪市街地の道路を日常的に運転する600人（インターネットモニター）
実施時期：令和4年9月22日（木）～9月27日（火）